

会 議 録

会議の名称	平成26年度第2回行田市市民公益活動推進委員会
開催日時	平成26年6月23日（月） 開会：午前9時30分　閉会：午前11時45分
開催場所	商工センター 4階401研修室
出席者氏名	金原二郎委員、串田隆義委員、園田佳代子委員、織田和美委員、 関川忠彦委員、鈴木孝佳委員、今村武蔵委員、中村博行委員、 村澤洋委員、齋藤貴美子委員（代理：野澤健）、稲葉誠一委員、 長谷川龍委員、野本翔平委員、松井秀二郎委員、田尻要委員、 矢本政子委員、吉田桂子委員、加藤修委員、坂野雅英委員、 阿部オブザーバー、木村オブザーバー、東恩納オブザーバー
欠席者氏名	矢部正オブザーバー
事務局	門倉課長、吉田主査、秋田主事
会議内容	司会 吉田主査 1 開会 2 委員長挨拶 3 議題 (1)市民活動やる気応援助成金の審査について (2)委員会の活動理念について (3)(仮称)行田市市民公益活動推進基本計画策定について (4)その他 4 閉会
会議資料	(資料1)行田市市民活動やる気応援助成金事業提案書 (資料2)新たな取り組み応援事業 審査・評価基準 点数早見表 (資料3)「行田市市民公益活動推進委員会」及び「(仮称)行田市市民公益活動推進基本計画」の今後について (資料4)(仮称)行田市市民公益活動推進基本計画～協働のまちづくりを目指して～ (資料5)(仮称)行田市市民公益活動推進基本計画 作業シート (資料6)行田市市民公益活動促進のための基本方針 (資料7)行田市市民公益活動推進のための基本方針実施計画
その他必要事項	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	1 開会
委員 長	2 委員長挨拶
司 会	3 議題
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長に議事の進行をお願いする。 ・議事に入る。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・議題（１）「市民活動やる気応援助成金の審査について」事務局より説明をお願いする。 ・審査方法について説明する。審査は、事前に配布した提案団体からの提案書及びこの場での提案説明により行っていただく。資料２が審査、評価基準表の点数早見表となっているので、参考にさせていただきたい。なお、この助成金は審査による平均点数が２４点以上ないと採択とならない。これを満たすためには全項目でＢ以上の必要があるので、その点も注意していただきたい。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局で説明があった件について、何か質疑等はあるか。
議 長	<p>—特になし—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は２件の申請があったが、基準点に満たず２件とも不採択となった。審査を甘くするという事ではないが、同じ市民活動を行う市民を支援するという意識で審査をお願いしたい。 ・提案団体「行田市商店会連合会」により提案説明をお願いする。 ・説明時間は１０分以内、その後２０分程度の質疑の時間を設ける。
提案団体	<p>—提案説明—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質疑に入る。何か質問はあるか。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・藩校サミットは市民への認知度が低い。行田のよさを伝えるいい機会と考えるがどうか。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・藩校サミットを知らない市民は多いと思う。行田市にプラスとなる行事にするために、商店会連合会が中心となって、おもてなしをしたいと考えている。
提案団体	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業終了後の継続性についてはどのように考えるか。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・商店会連合会では２０１０年から忍城址前で物産店を行っている。
提案団体	<ul style="list-style-type: none"> ・また、我々は市内の大きな事業の際のソフトミックスが大切だと考えており、何か事業の際、要請があれば参画したいと考えている。

<p>委員</p>	<p>また、11月の時代祭りでは、市民や福祉団体に商店街の中に入れてもらうイベントを開催する予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予算書で70万円のうち、60万円は繰越金となっているが、これは商店会連合会から拠出するのか。
<p>提案団体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ その通りである。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別紙に見積書が添付されているが、甲冑隊とは契約したのか。契約が済んでいるのであれば契約日はいつか。
<p>提案団体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地の武将隊を招聘するための予算は50万円が上限であり、参考見積りとして提出いただいたのが別紙の見積書である。契約はまだ済んでおらず、「神戸の清盛隊」の招聘が確定したのが2～3日前であるが、近々契約予定である。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 藩校サミットは、毎年持ち回りで開催されるものか。また、会津からも城主の末裔が参加するのか。
<p>提案団体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詳細は実行委員会でないと分からないが、希望する地域があれば開催するという方針のようである。また、会津からの参加についてもこちらは把握していないが、会津は藩校サミットに最も積極的な地域だと思われる。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 藩校サミットは全国的なイベントであるにも関わらず、先ほどから指摘のとおり市民への周知が不足している。オール行田でおもてなしをするためにも、実行委員会がやらないような商店会連合会の試みは重要だと考える。
<p>提案団体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 激励をいただきありがたく思う。実行委員会は事業実施に向けて大変だと思うので、実行委員会に要求するのではなく我々ができることをしたい。現在考えていることが2つある。1つ目は、アイトピアから産業文化会館にバスで向かう際、忍城址前で降りてそこから歩いていただくということである。2つ目は、各城主の末裔には見えてすぐわかるようタスキをかけていただくなどである。どこまでできるか分からないが、実行委員会と連携を取りながら実現したいと考えている。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本提案事業の実施について、実行委員会は知っているのか。
<p>提案団体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話しはしてあるが、実行委員会からの問合せはない。
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他にあるか。

	<p>—特になし—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査に入る。提案団体は退出をお願いする。
	<p>—審査—</p>
	<p>—集計—</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・集計結果を発表する。30点満点中平均点が26.3点であったことを報告する。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・以上で、市民活動やる気応援助成金の審査を終了する。 ・続いて、議題（2）「委員会の活動理念について」事務局より説明をお願いする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の委員会にて、活動目的の上に活動理念や活動方針を定めるべきではないかとの指摘があった。そこで、本委員会設置条例の設置目的や過去に策定した「行田市市民公益活動促進のための基本方針」及び「行田市市民公益活動促進のための基本方針実施計画」などを基に、「市民を始めとした様々な市民公益活動団体の自主的かつ主体的な活動を支援し、様々な主体による協働のまちづくりを推進する」という基本理念を考えた。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・何か意見等はあるか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「様々な」という言葉が2つ出るが、どのような意味か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の様々は市民公益活動団体を指し、後半の様々は行政も含めたより広い意味での活動団体や主体を指している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・後半の様々が無くても良いのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・後半の「様々な主体」という言葉も市民公益活動を示す上で重要なキーワードである。前半の「様々な」を別の言葉に置き換えることはできないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・単純に前半の「様々な」がなくてもよい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や文脈は変えず、前半の「様々な」という表現の部分を調整し、次回提案できるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・可能である。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・次回に改めて提案することとする。 ・続いて、議題（3）「（仮称）行田市市民公益活動推進基本計画策定について」事務局より説明をお願いする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年策定の「行田市市民公益活動推進のための基本方針」及

	<p>び平成21年策定の「行田市市民公益活動推進のための基本方針実施計画」を基に、「（仮称）行田市市民公益活動推進基本計画」の素案をまとめた。後半は各グループの作業シートを基に、実施方法等を明記している。グループ毎の担当部分及び計画全体の内容や言いまわし等について、グループ内で意見交換をしていただき、その後全体での意見交換を行っていただく。なお、第3章が空白になっているが、第1章の内容と重なる部分がある。その必要性も含めて意見をいただきたい。</p>
議長	<p>・グループでの、意見交換は約15分程度でお願いします。</p> <p>—グループごとの意見交換—</p>
議長	<p>・グループ内で出た意見等を言っていただきたい。</p> <p>【支援するための仕組みづくりグループ】</p>
委員	<p>・14頁からの「支援するための仕組みづくり」では、「相談窓口の設置」の部分を前倒しして行うべきとの意見が出た。サポセンの準備室等を設け、今年度から準備を始めるなど、スピード感を持って事業を実施していく必要がある。</p> <p>【活動活性化への仕組みづくりグループ】</p>
委員	<p>・8頁からの「活動活性化への仕組みづくり」では、①市民活動やる気応援助成金で公開審査のPRとあるが、結果発表のPRも盛り込んだほうがよい。②公共施設の活用方法の提案では、コミセンの改修工事終了と同時にサポセンを整備し、活用していく中で情報の一元化が必要になるとしている。しかし、情報の一元化のための方法の検討が28年度まで、システムの検討が30年度までとなっているのはやや遅いと思われる。大掛かりなシステムはなくてもよいので、サポセンの運営主体が決まるのに併せて情報の一元化も実現すべきである。③活動の継続では、11頁の事例発表会を利用して、発表の機会を交流につなげる仕組みを作るべきである。④団体の育成では、アンケートの内容が重要だと思うので、よく検討して実施するべきとの意見があった。また、表記方法として前回の指針と同じではなく、行う人と場所を明記するなど、工夫が必要である。</p> <p>【参加のきっかけづくりグループ】</p>
委員	<p>・6頁からの「参加のきっかけづくり」では、⑤の学ぶ機会、セミナ</p>

	<p>一の実施は27年度だけではなく、内容を変えて継続的に実施する必要があるとの意見が出た。</p> <p>【協働の推進グループ】</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・12頁からの「協働の推進」では、全体的に間延びしているという意見が多かった。
	<p>【交流の機会、ネットワークづくりグループ】</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・10頁からの「交流の機会・ネットワークづくり」では、事例発表やイベントは継続して実施すべきとの意見があった。また、③の様々な「地域主体での交流」では情報発信により活動に引き込む、あるいは活動の場に出向いていく必要があるとの意見が出た。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今回出た意見を基に内容を再考していただくということでよいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・よい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて、議題（4）「その他」について、何かあるか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・本委員会は条例設置であるため回数を増やすのは難しいが、事務局任せになっている部分がある。計画づくりは、誰が主体で行っていくか話し合うべきである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動に関する会議は21年度から行っているが、あまり進展していない。できることからスタートし、目に見える成果を出していかなければならない。事務局も人事異動により職員が変わるので、委員の中からサポセン準備室の担当を何人か出し、事務局と一緒に進める。委員会をサポセン設置予定のコミセンで開くなど、具体的なものから手をつけていくべきである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・行政がやっていることを我々が担うなど、我々が汗をかくべきである。この委員会を受け皿に宮代のようなサポセンができないか。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会としてではなく、委員有志でできることから実施していくことが必要である。 ・他に何かあるか。 <p>—特になし—</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・以上で議長の職を解かせていただく。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・以上で第2回行田市市民公益活動推進委員会を終了とする。